

平成23年12月27日
独立行政法人
日本原子力研究開発機構
敦賀本部

「高速増殖原型炉もんじゅ 耐震安全性評価結果報告書」の
入力データの再点検状況について
(お知らせ)

当機構は、原子力安全・保安院からの「耐震安全性評価報告書の再点検について」(平成23年8月22日付け)の指示^{※1}に基づく再点検において、「高速増殖原型炉もんじゅ耐震安全性評価報告書 改訂(補正)^{※2}」の津波水位シミュレーションの解析モデルの入力データ1箇所にて誤りがありましたのでお知らせします。なお、正しいデータを用いた最も水位の変動が大きくなるケースにおいても、評価結果の値は変わらず、耐震安全性評価結果に影響はないことを確認しております。

当機構は、引き続き、耐震安全性評価報告書の再点検を行い、点検結果がまとまり次第、報告する予定です。

なお、原子力安全・保安院からの「東北地方太平洋沖地震の知見等を踏まえた原子力施設への地震動及び津波の影響に関する安全性評価の実施について」(平成23年11月11日付け)の指示^{※3}を受け、その評価結果を年内に報告することとしていましたが、まとまり次第、報告する予定です。

※1 平成23年8月22日付 原子力安全・保安院からの指示内容(概要)

原子力安全・保安院は、他プラントの耐震安全性評価における地震応答解析モデルの入力データの誤りや他社における同様の事象を踏まえ、「発電用原子炉施設に関する耐震設計審査指針」等の改訂に伴う既設発電用原子炉施設等の耐震安全性の評価を指示した原子力事業者に対して、安全上重要な建物・構築物及び機器・配管系の耐震安全性評価に係る解析のために入力したデータ及び条件設定について、解析の委託先を問わず、誤りの有無を調査し、耐震安全性評価報告書の再点検を行い、安全性に関する総合的評価のうち耐震裕度に係る総合的評価を報告する前までの報告を求めています。

※2 平成22年3月12日付 高速増殖原型炉もんじゅ「発電用原子炉施設に関する耐震設計審査指針」の改訂に伴う耐震安全性評価結果報告書 改訂(補正)

※3 平成23年11月11日付 原子力安全・保安院からの指示内容(抜粋)と対応

原子力安全・保安院から、若狭湾地域における既往津波に関する調査とそれを踏まえた津波の影響評価及び基準地震動の変更に伴い、周辺斜面の安定性の再評価と当該再評価を踏まえた安全上重要な施設等への影響評価が必要との観点から、機構に対し、評価に係る実施計画を策定し、平成23年11月18日までに提出すること、また、その実施状況については、2か月を超えない範囲で定期的に報告することを求める指示を受けました。

これを受けて機構では、平成23年11月18日に原子力安全・保安院に提出した実施計画書において周辺斜面の安定性の再評価と当該再評価を踏まえた安全上重要な施設等への影響評価について、年内にとりまとめ、原子力安全・保安院に報告することとしていました。

添付資料：「高速増殖原型炉もんじゅ 耐震安全性評価報告書」の入力データの誤りについて

以上

「高速増殖原型炉もんじゅ 耐震安全性評価報告書」の
入力データの誤りについて

敷地前面の海底地形データのモデル化の際に水深データ 1箇所の入力データについて、「-2.0」 mと入力すべきところを「-20.0」 mとする入力誤りがあった。

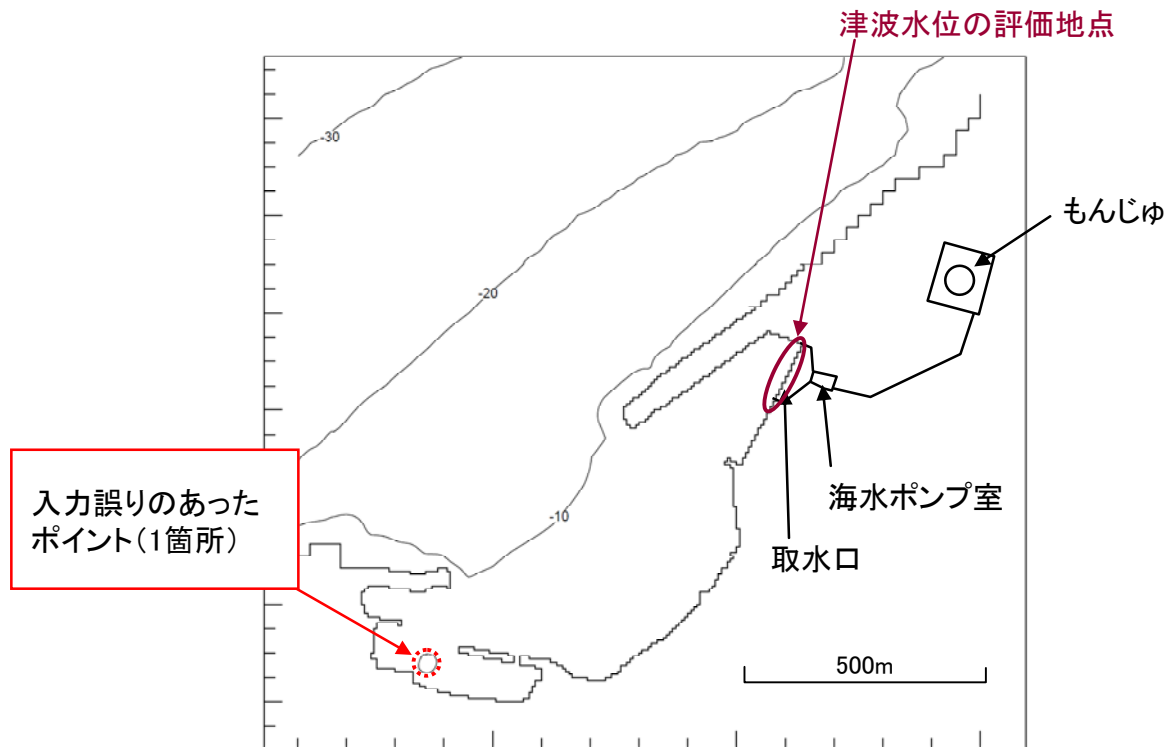


図 海底地形モデル

入力誤りの影響について

正しい海底地形数値に基づき、耐震安全性評価報告書において最も水位の変動が大きくなる「大陸棚外縁～B～野坂断層」のケースについて、再解析を実施した結果、報告した数値に変更はなく、耐震安全性評価結果に影響はないことを確認した。